

ゆきす

2011/03 春号

37号

通刊74号



<http://www.kumayuken.org/>
info@kumayuken.org

農林水産省登録認定機関・特定非営利活動法人(NPO) 熊本県有機農業研究会 発行
〒861-8028 熊本市新南部2丁目5-13 Tel096-223-6771/Fax096-223-6772 振替:01980-7-18438

- * ゆうきフェスタ2010報告
 - * 各部会活動
 - * オーガニック食クエスト【Cafe3】
 - * 総会報告ほか
- 事務局からのお知らせ



おでんやふるふき〇〇などが美味しい、白くて大きな根菜です。【写真：野中 元】
この写真は赤い品種の花なので、薄く色づいています。

連載企画！ 種*花クイズ

Q. 右の写真は何の野菜の花
でしょう？

* 正解者の中から抽選で2組(計4名様)に、有機食材を使ったレストラン等で使える約1000円相当のチケットをプレゼントいたします。わかった方は、ぜひご応募下さい。

* 応募先やチケット利用可能店など、詳しくは4面へGO!

種はこんな姿です→



身土不二

オーガニックストア ビオ天粧錦ヶ丘

代表 福山隼三

有機野菜を食べ始めて、もう40年近くもなりました。自分はお小児リュウマチ、父母も兄弟もみな持病を抱え、病氣一家でした。あるお医者さんの助言もあり、小学校低学年の頃に、父親が食事を玄米菜食に切り替えました。とりわけ生命力いっぱい有機野菜とお米のおかげで、自分が中学に上がる頃には、病弱だった体もすつかり丈夫になりました。家族の病氣もうそのように無くなり、元氣いっぱい家族に生まれ変わっていました。

親の仕事も、化粧品販売から、有機野菜と無添加の食品の販売に変わり、生活の中に、当たり前のように有機農業の生産者の方と、提携する消費者の方がいつもいらっしやいました。

おいしい野菜と、有機農家の方の実直な心と笑顔に囲まれた生活はとても心地よく自分も平成元年より、家庭の有機野菜の販売を手伝い始め、家族も増え、平成19年には、みなさんに支えられ、新しく自分の店舗も持つ事が出来ました。

2年前、やりがいのある仕事と、健康と、幸せな生活が送れる事への少しでも恩返しが出来ればと思いい、有機JAS認定機関でもある「熊有研」の理事をさせて頂き、お手伝いをさせて頂いて頂いております。

先日ある有機農業の生産者との話の中で、その方のお母さん(80歳代)は、「野菜を食べれば、その野菜が、有機野菜かそうでないかが、味と匂いでわかる。」とおっしゃっていました。毎日、有機野菜を食べていても、農薬や化学肥料の匂いを知らない自分は、味や匂いに違和感を持ってても、それを確に農薬や化学肥料と認識する事は出来ません。たぶん多くの消費者も同じではないでしょうか。

いろんな場所で「安心、安全、新鮮」と書かれた野菜やお米を手に入れる事が出来るようになった現在、改めて、有機JAS認定制度のお陰で、自分や家族も、また消費者の皆さんも、「本当に安全な野菜やお米」を選択出来る事を痛感しました。もちろんその為に、生産者の皆さんが日々の農作業の他に多くの手続きを、して頂いている事に対して、深く感謝する事も忘れてはいけません。

有機農業は、単に経済活動ではなく、やはり有機農業運動だと思えます。

多くの赤ちゃん、子ども、大人、お年寄り、健康な人も病氣の人にも幸せな今と将来をもたらす有機農業運動がますます発展することを願ひ、ひとりでも多くの消費者にお伝えしていきたいと思ひます。

《しんふじ》…身体は土と離れてはあり得ない(しんじゆ)。農業を営むひとたちにとって大切なキーワードとなっています。

ゆうきフェスタ2010

— はじめる!有機 —

2010年11月21日(日)

熊本県立大学にて

出展者一覧

NPO法人全国有機農業推進協議会
らぶらんどエンジェル
熊本市廃棄物指導課
(財)自然農法国際研究開発センター
まると油脂化学(株)
コープ熊本/㈱一次産業サービス/
ちかけん/平家屋
農事組合法人ちくりんの恵
ピオ天粧錦ヶ丘
キッチン太郎
東海大学農法研究所
くまもと新規就農者ネットワーク
山都町バイオ燃料推進協議会
松合食品
秀明自然農法ネットワーク
地産倶楽部
人吉市有機農業推進協議会
熊本県愛農会野菜部
堀内製油
(株)ヘルスコガ
熊本いのちと土を考える会
(有)シリカファームすい
POP COFFEES
マナバーガーズ
宇城市有機農業推進協議会
九州の食卓
百草園・万菜村
山都町有機農業協議会
矢部高校生活・園芸部
のむら自然農園(野村哲也)
(株)果実堂
くまもと産直クラブ
(株)マルタ
(有)くまもと有機の会
阿蘇バーガーショップ・緑の資産
農文協
熊本県厚生農業協同組合連合会
九州農政局
くまもと有機農業推進ネットワーク
くまもとグリーン農業推進協議会
熊本県立大学 地域連携センター
野菜ソムリエの会・熊本
中重企業
熊有研青年部・種苗部・広報部・
食農教育部・菜の花プロジェクト

おつかれさまでした!
これからもよろしくお願いいたします!

◆主催
ゆうきフェスタ2010実行委員会
(内田敬介委員長、安藤光一企画
委員長)

◆共催
くまもと有機農業推進ネットワ
ーク、全国有機農業推進協議会

◆協賛
松合食品(株)、JA熊本中央会、
(株)果実堂、(有)くまもと有機の会、
医療法人社団寿量会、中重企業(株)、
大東肥料(株)、(株)ティア、(有)内田
安喜商店、(株)ヘルスコガ、(株)マルタ
グループ、人吉市有機農業推進協
議会、山都町有機農業推進協
議会、原田アイガモ孵化場

◆後援
熊本県立大学、九州農政局、熊本
県、熊本市、熊本県教育委員会、熊
本市教育委員会、熊本日日新聞社、
NHK 熊本放送局、RKK、TKU、KAB、KKT

当日は、小さな子ども連れのご家
族や若い女性をはじめ、たくさんの方
々にご来場いただきました。澄み
きった青空と紅葉した銀杏の下、美
味しいごはんや食材を片手に楽し
んでいただけたのではないかと思
います。

今年は、ご来場いただけなかった
方にも内容をお伝えできるように、

11回目となる
今年のテーマは
「はじめる!有機」
。全国有機農
業推進協議会や
熊本県とも連携
して、より開かれ
たフェスタを目
指しました。
リサイクル食
器の導入など、環
境や暮らし・い
のちを考えてもら
うきっかけを提
供し、皆さんに何
かを始める勇気
を持っていただ
ければという想
いを込めて開
催しました。



＊ワークショップ

屋外では食材等の販売のほかにも、実際にその場でものづくりを体験できるワークショップも行われました。せっけん作りや竹のランプシェード作りなど、親子連れを中心に賑わっていました。

当日の様子を6ページの「報告集」にまとめました。ご覧いただければ幸いです。今後も、いろいろな企画や工夫を考え、進化し続けていきたいと思えます。
次回のゆうきフェスタも、どうぞお楽しみに!



＊屋内会場での展示ブース

屋内会場(学生ロビー)では、8団体が展示や体験コーナーなどを出展。農業や健康、野菜料理のポイントについての質問など、出展者と来場者が直接じっくりとお話できていた様子でした。



＊映画上映

今年、有機農業映画の名作「いのち耕す人々」と熊本初上映となったドキュメンタリー映画「ミツバチの羽音と地球の回転」の2作品を上映しました。「ミツバチ」は瀬戸内海祝島での原発問題と、スウェーデンでの持続可能な社会に向けた取り組みを追った話題作。観終わった後

有機農業の先駆け・金子美登氏や歌手の東田トモヒロ氏ら多彩なメンバーで開かれたシンポジウム「からだがよくなる! 野菜の作り方」と、アレルギー専門医・吹角隆之氏の講演会、私たちの健康と化学物質」は、録画したDVDが事務所にあります。ご覧になりたい方は事務局までお問合せください。



に感想を話し合う様子も見られ、私たちが使うエネルギーや資源の循環などについて考えて行動をはじめ、そのきっかけとなるような映画でした。

九州・山口有機農業の祭典@鹿児島

有機農業を続けた原動力の一つ、を実感させてもらいました。私は今回、第4分科会「有機農産物の価格及び流通・販売について」の座長をつとめさせてもらい、生産者・流通関係者・消費者・事業者から現状と課題、持続可能な有機農業を考えることができました。23年度、第19回は熊本での開催です。皆さん、参加準備をよろしく。

宇城市有機農業推進協議会 森田良光

今年、第18回大会。1月29日から30日にかけて、霧島に200人あまりが集いました。記念講演、実践報告、分科会での意見交換、翌日の種苗交換など内容豊富な大会。熊本関係は約40人、宇城から10人が参加。



●青年部 ～農機具メンテナンス講習会を開催～

2月19日(土)午前中、熊本市本荘の坂田農機で農機具メンテナンス講習会を開きました。当日はトラクターや耕運機、管理機、草刈り機など、実際に農機具を目の前に置いて安全に使うための注意事項や使い方、メンテナンスの仕方、農機具の選び方などについて教えてもらいました。午後の熊有研総会開始に遅れるのではないかとと思うくらい長時間に亘り、懇切丁寧に、こちらの疑問がぶつとぶくらい丁寧に答えてもらい、みんな大満足でした。



＜青年部 西田陽子＞

●種苗部 ～九州・山口有機農業の祭典 2日目の種苗交換会～

祭典1日目は実践的に有機農業をされている金子美登さんの報告があり、ためになる所がけっこうあった。2日目の11時から、45分間、種苗交換会が開かれ、40名の種をもってこられた方が種の特徴を説明され、その後、種を持ってきた人40名で種の交換が始まった。それが終わり、次は自家採集の種を持ってきていない人たちの交換会が始まると、直ぐに種もなくなった。80種類ぐらいの種が九州の各地に持っていかれ、それぞれの種にまた磨きがかかり、来年への種苗交換会に出品されるのが待ち遠しいと感じられる思いでした。



＜種苗部 徳田勇次＞

各部会活動

●食農育部 ～東城百合子氏の講演会を終えて～

東城百合子さんとの出会いは「食生活が人生を変える」という1冊の本でした。その頃は、子供が熱を出しては、すぐに病院に行き、2時間待ち、3分診療、多量に出る薬に後悔しながら帰る事を繰り返していました。また、我が家の食卓の主食を玄米に変えた頃でもありました。本を読んで副食も野菜中心になり、病院に行く回数も減っていききました。



今回、ご縁あって、東城さんの講演会に関わることが出来、大変感謝しています。少しお話しする時間があって、日頃から子どもが口にする食べ物について気になっていたことをぶつけました。そのお答えは、厳しい口調の中にも深い愛情が感じられ、このままで大丈夫なんだという勇気を頂きました。これからも、子ども達に心のこもった食べ物を作っていこうと思いました。

1月20日(木)、崇城大学市民ホールでの講演会は、当日来られた方も多数いらっしゃり、急遽後ろにお席を追加し、250名の席がほぼ満席となる盛況ぶりでした。また、みなさん食べ物や有機農業に感心のある、意識の高い方々で、質疑応答の時間も大変白熱しました。

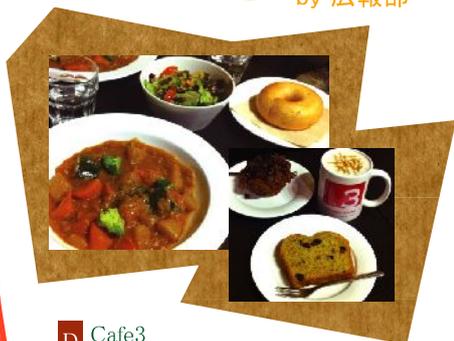
＜食農育部 馬場佳乃子＞

ホノカキ食カエスト

ゆうき しやく たんぽう

vol.12

by 広報部



DATA Cafe3
熊本市麻生田4-2-40
TEL:096-338-3355
<http://cafe3veggy.blog11.fc2.com>

Cafe3 ～“第3の空間” 我が家に職場、その次にCafe3～

北バイパスから少し脇道に入った場所にある「CAFE3」。入ったとたんに寛大な心になる(ような気がする)のは、広々としたガラス張り高い天井の効果…と思うのは早計である。なんといってもテーブル間のスペースが広い!ちょっと席を詰めたらミニライブくらいできそうで、某コーヒー店とは段違いの開放感だ。さらに奥に進むと、実は隣のあるお店と繋がっていて…!?なことがあるかは後のお楽しみということで、お待ちかねのメニューについて。「本日のスープ&ベーグルランチ」デザート付きは、ベーグル、焼き菓子、ドリンクをそれぞれ選べるとのこと。あれこれ迷いつつ、イチジク入りベーグルとチョコランベリーマフィン、豆乳チャイラテをチョイス。甘酸っぱいトマトベースのスープも含めて、ふんわりやさしい味にまとめられていました。料理の美味しさもさることながら、お店のルーツに惹かれて常連になった人は、店内奥に秘められた「環境への配慮」に共感した人なのかも。楽しいひとときがポジティブ力アップに繋がる「第3の空間」でした!

※近隣の生産者の有機野菜を使用しているそうです。 <松本恵美 記>

* Cafe3の隣には、アウトドア・スポーツウェアのブランドpatagoniaの専門店「フェアバンクス」が併設されています。patagoniaは、機能性と丈夫さ、リサイクル素材の使用など製品づくりへのこだわりと、環境問題への先進的な取組みでも有名な企業です。patagoniaの服を着て農作業をすれば、自分とみんなと地球の健康にもっと貢献できるかも!?



第11回通常総会報告

2月19日(土)、県立大学小ホールにて第11回通常総会を開催し、2010年度事業活動報告及び決算、2011年度計画及び予算を審議、承認しました。また、今年役員改選年次にあたり、今総会にて理事17名、監事2名が選任されました。食農育や消費者への理解促進活動の大切さを訴える声や、広報予算の増額、新規就農者支援が有効に機能する仕組み作り等を求める意見が出され、2011年度の事業活動に活かしていくことを確認しました。最後に間議長が、「養成塾」等大きな委託事業のスタートに伴う金銭的情報開示・運営の透明化を宣し、拍手の中、閉会しました。

●役員一覧

理事：真田一廣、間澄子、市来真、緒方健、森田良光、橋本忠昌、坂梨敏行、内田敬介、徳永直喜、荒毛正浩、澤村輝彦、福山暎三、藤本邦夫、井ノ口頼子、渡辺眞明、安藤光一、菊池泰宏
監事：古荘洋子、蓑田友宏

●「養成塾」スタート!

熊本県の委託を受け、4月より有機農業での県内新規就農を目指す研修生を育てる事業を開始します。8名の研修生と8軒の受入農家が決まり、コーディネーターに県立農大副学長の荒木氏を迎えて有機農業へのチャレンジを支援します。

1-3月活動報告

- 1/12(水) 第3回熊本県有機農業研修会
- 1/15(土) ゆうきフェスタ反省会&交流会
- 1/19(水) 審査員研修会議
- 1/26(水) JAS講習会 (AB年次)
- 1/27(木) 養成塾研修説明会
- 1/29・30 火の国九州・山口有機農業の祭典(鹿児島)
- 2/06(日) 第1回判定委員会
- 2/15(火) 農水省 判定員研修会
- 2/19(土) 水野葉子さん講演会
第11回通常総会
- 2/22・23 農水省 検査員研修会
- 3/04(金) 農水省 資材リスト化事業説明会
- 3/05(土) ゆうきフェスタ2011 第1回実行委員会
- 3/08-09 審査員判定員合同研修会
- 3/17(木) 第2回判定委員会
- 3/18(金) 県主催 新規就農支援セミナー
10年プラン懇談会
- 3/26(土) 養成塾説明会(顔合せ会)
第1回理事会

今後の予定

- 4/5(火) JAS講習会 (A/山都町)
- 4/11(月) 九州有機農業推進協議会(熊本)
- 4/17(日) 第3回判定委員会
- 4/18(月) 養成塾開始式
- 5/15(日) 第4回判定委員会
- 5/18(水) 審査員研修会議
- 5/28(土) 第2回理事会

- 総会同時企画 -

水野葉子さん講演会「オーガニックってなに?」

総会に先立って、日本初のオーガニック検査員・水野葉子さんの講演会が開催された。講演では、『有機=オーガニック』を志向する消費者の目線から検査員の道に入ったこと、また、JAS認証を取るまでの煩雑な行程にも言及され、「(生産者と消費者の関係が)信頼で成り立つなら、認証など必要ない」という、多くの生産者の本音を代弁するような場面もあった。今後有機JASマークへの理解を広めるために、「若者への浸透度が高い『オーガニック』という呼び名も併用しつつ、『楽しく、明るく、オシャレに』をモットーとした検査員養成講座を開いていきたい」という明るい展望をもって、講演を締めくくっていた。(松本 恵美 記)



ごあいさつ

こんにちは。新人事務局の菊川です。安心・安全な食を大切にしたいと思ひ、熊有研に入りまして。新しいスタートと張り切っていたら、東北地方でM9.0の大地震が発生。毎日テレビで映し出される光景に胸をふさがれる思いです。一日も早く地震や原発事故の影響が収まり、被災された方々が立ち直られますようにと祈るばかりです。みんな協力し、助け合っ



熊本では Denkikan にて、4月9-16日まで1週間ずつ上映予定

食に関する映画

アメリカとヨーロッパの食の現状を描いた2作品「フード・インク」と「ありあまるごちそう」が公開中です。ごはんがあふかない、世界が飢えていくメカニズム：食の社会学として一見の価値があります。

れたらと思っっています。よろしくお願ひいたします。

広報部 編集後記



このタイトルは、熊有研会報第1号から使われていたものを縮小したものです。

▼東北の被害の甚大さが日々報道されています。義援金もボランティアも大切ですが、「食料の供給」こそ生産者ならではの最大の援助だと思います。遠回りでも確実に！確かな実りを届けられるように、自分の仕事を通して日本の足元を固めていきたいです。(松本)

▼東北地方太平洋沖地震でお亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。今後は、被災地復興の為に、自分ができることをしたいと思ひます。(菊池)

▼寒かった冬が終わり、春がやってきました。はじまりの季節、起きてしまったことは受け入れた上で、今までよりもっと良くなれるよう、行動していきたいと思ひます。(出田)

種*花クイズ 応募方法

表紙のクイズの答え・住所・氏名・電話番号・ゆうきの感想をお書き添えの上、郵送かFAXまたはメールにて、下記宛先まで応募下さい。

●問合せ・応募先
〒861-8028 熊本市新南部2丁目5-1 3
FAX:096-223-6772 MAIL:info@kumayuken.org
熊有研広報部 種花クイズプレゼント係 宛

チケット利用可能店

- * レストラン大河(益城町)
- * 泉力の湯(西原村)
- * カフェテラス野の花(黒髪)
- * アスペルジュ(並木坂)
- * プライベートロッジ(並木坂)
- * 土に命と愛ありてティア(本山町)
- * ビストロシェルコパン(山鹿市)
- * エヴァダイニング(福岡市)
- * ちゃぶ台(玉名市)
- * 風流(西原村)
- * キッチン太郎(子飼)
- * ピオサル-テ(駕町通)
- * オルモ・コッピア(阿蘇市)

前回の答えは「おくら」でした。